

平成22年度

# 事業計画書

(平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)

社団法人 競走馬育成協会

## 平成22年度 事業実施計画

本協会は、昭和34年11月に創立され50年の歴史を数えた。この間の日本の競走馬育成技術の向上は目覚ましいものがあり、本協会会員の果たしてきた役割は極めて大きいものがある。

平成22年度は、このような育成者が担っている重要な役割や、当協会の業務運営、会員の活動内容等について積極的にPR活動に取り組むとともに、今後の競走馬育成業界の発展を祈念する50周年記念事業を行う。

また、競走馬業界の人材確保対策に取り組むとともに、引き続き会員の育成技術の一層の向上に資する事業に重点を置きつつ、関係機関のご指導、ご協力とご支援を得ながら、以下の事業を計画的、効率的に実施して健全なる競馬の発展に寄与するものとする。

### 1. 育成技術表彰事業の実施

- (1) 会員の育成技術の向上を図り、丈夫で強い馬づくりを目指した競走馬育成の健全な発展に資するため、育成技術表彰事業を実施する。
- (2) 表彰対象競走は昨年同様、原則として日本中央競馬会が施行する、新馬競走、2歳重賞競走、障害重賞競走、3歳以上の重賞競走及び平地の3歳以上のオープン競走(3歳限定競走を除く)で、会長が指定した競走とする。
- (3) 一部表彰対象競走にあっては、施行場における表彰式への参加機会の拡大について、関係機関との調整を図る。

### 2. 育成技術講習会の開催

- (1) 競走馬の育成・調教に関する経営・飼養・衛生・環境管理及び馴致・トレーニング法等の知識や手法について、普及啓蒙を図り、丈夫で強い馬づくりに資するため、育成技術講習会を実施する。
- (2) 実施にあたっては、日本中央競馬会、財団法人軽種馬育成調教センターと連携、共催することにより、運営効率化を図ることとする。

### 3. 人材養成支援事業の実施

- (1) 軽種馬経営の安定につながる将来の基幹的技術者の確保及び高度な知識技術の修得の支援を行う。

#### 4. 2歳育成馬トレーニングセールスの推進

会員の育成成果を公開する場でもあるトレーニングセールにおいて、その開催後援等により市場取引の活性化を図る。

#### 5. 育成経営の実態及び改善に関する基礎調査事業の実施

競走馬の育成を行う者の、育成環境の改善及び育成技術の向上に資するため、育成経営の基礎調査を実施する。

#### 6. 育成施設等の整備に関する助成等の実施

- (1) 育成施設等の整備のため、財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成を受け、軽種馬生産育成強化資金利子補給事業を実施する。
- (2) 畜産環境問題に対応する財団法人畜産環境整備機構の行う畜産環境整備リース事業に取り組む。
- (3) 日本中央競馬会の施設等で使用を取りやめた機器・資材等を会員に紹介する競馬関連機材等有効活用事業に取り組む。

#### 7. 協会の運営・拡充強化

- (1) 上記の事業運営について、審議・協議するため、総会、理事会等を開催する。
- (2) 当協会の主要行事、関連する業界の動向等、会員が必要とする情報を提供するため、機関誌「いくせい」を発行する。
- (3) 競走馬の育成者の新規加入を促進し、育成者の連携と連帯を深めることを目指し、組織の整備拡充を図る。

#### 8. 創立50周年記念事業の実施

今後の競走馬育成業界発展を祈念して、

- (1) 創立50周年記念式典を行う。
- (2) 創立50周年記念誌を発行する。

# 収支予算書総括表

平成22年1月1日 ～ 平成22年12月31日

(単位:千円)

科 目	一般会計	育成経営の実態 及び改善に關する 基礎事業会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	合 計
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1.事業活動収入				
入会金収入	150	0	0	150
会費収入	5,400	0	0	5,400
補助金等収入	69,356	0	2,216	71,572
特定資産受取利息収入	2	0	0	2
委託事業費収入	0	1,703	0	1,703
補助事業費収入	0			0
雑収入	379	2	2	383
事業活動収入計	75,287	1,705	2,218	79,210
2.事業活動支出				
事業費支出	49,422	1,705	1,955	53,082
業務管理費支出	27,205	0	0	27,205
業務委託費支出	996	0	0	996
育成技術向上推進事業費支出	322	0	0	322
2歳育成馬トレーニングセール事業費支出	0	0	0	0
育成情報誌発行事業費支出	430	0	0	430
育成技術表彰事業費支出	20,469	0	0	20,469
育成経営の基礎調査事業費支出	0	1,162	0	1,162
競走馬資源有効調査事業費支出	0	543	0	543
利子補給事業費支出	0	0	1,955	1,955
育成技術者海外派遣費支出	0	0	0	0
派遣者選考経費支出	0	0	0	0
推進事務費支出	0	0	263	263
現地指導旅費支出	0	0	163	163
通信運搬費支出	0	0	100	100
会議費支出	0	0	0	0
印刷費支出	0	0	0	0
旅費支出	0	0	0	0
消耗品費支出	0	0	0	0
補助金等返還金支出	0	0	0	0
管理費支出	26,902	0	0	26,902
役職員給与支出	16,676	0	0	16,676
事務費支出	6,020	0	0	6,020
会議費支出	1,206	0	0	1,206
創立50周年記念費	3,000	0	0	3,000
事業活動支出計	76,324	1,705	2,218	80,247
事業活動収支差額	△ 1,037	0	0	△ 1,037
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1.投資活動収入				
特定預金取崩収入	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0
2.投資活動支出				
特定預金取得支出	2,063	0	0	2,063
投資活動支出計	2,063	0	0	2,063
投資活動収支差額	△ 2,063	0	0	△ 2,063

科 目	一般会計	育成経営の実態 及び改善に関する 基礎事業会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	合 計
Ⅲ財務活動収支の部				
1.財務活動収入	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0
2.財務活動支出	0	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
Ⅳ予備費支出				
当期収支差額	△ 3,100	0	0	△ 3,100
前期繰越収支差額	5,888	0	0	5,888
次期繰越収支差額	2,788	0	0	2,788

(注) 1. 予算額については、今後補助団体との調整が必要である。調整の結果、補正を必要とする場合は、理事会において変更できるものとする。

- 2.借入金限度額 0円  
3.債務負担額 0円